

第 1 学年国語科学習指導案

日 時 平成 18 年 10 月 26 日 (木) 5 校時
場 所 1 年教室
児童数 男子 9 名 女子 5 名 計 14 名
指導者 大畑 千登勢

- 1 単元名 本とともにだちになろう (光村図書「国語 1 年上」)
教材名 ずうっと、ずっと、大すきだよ (読む、書く、話す・聞く)

2 単元について

(1) 教材について

第 1・2 学年における「話すこと・聞くこと」領域の学習指導に関する目標は、「相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。」ことである。本単元はこの目標を踏まえ、児童に「友だちに知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら相手に分かるように話す力」を育てることをねらいとして設定した。

この時期の児童は、学校生活にもだいぶ慣れ、友だちとの会話や活動も活発にできるようになってきている。その中で、自分がみつけたもの、感じたことを友だちに話し、友だちがそれを聞いて理解し、「わたしもそう思うよ。」と言ってくれることは、大きな喜びになる。教師の読み聞かせや自ら絵本を読む活動で、お話の世界に浸ることの楽しさを経験した児童が、自分の選んだ好きな本を友だちに紹介し、友だちにも理解し共感してもらう活動をするには、話した事が伝わることの喜びを体験し、今後の言語活動の自信へとつながるものと考え。

本教材では、はじめに教材文「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を児童が主人公の気持ちになって読み進めることを大切にしながら、物語の途中でお互いの経験や感想を話したり、聞いたりしながら最後まで読む。そして、好きな場面を紹介し合う。次に、友だちにも読んでもらいたい本を決めて、好きな場面を選び、紹介カードを書き発表し合う。その後に、友だちから紹介された本を読み合ったり感想を交流したりすることができるための場を設ける。以上のことから、本教材は本単元の目標を達成させることに適した教材であると考え。

(2) 児童について

児童はこれまでに、1 年上「すきなものおしえて」で人に何かを尋ねるときの尋ね方、それに対する答え方の基本を繰り返し学習した。児童は丁寧な言葉づかいにもだいぶ慣れ、場をわきまえた言葉の使い分けができるようになってきた。また、1 年上「みんなに知らせたいこと」では夏休みの出来事の中から友だちに知らせたいことを選び、発表会で友だちに知らせたり、友だちの話に興味をもって聞いたりして、伝え合いの楽しさを経験した。そして、1 年上「ほんとなかよ

し」で好きな本の題名や登場人物，簡単に内容を紹介する学習をした。それ以降は，毎週金曜日の朝読書の時間に3～5人のグループで好きな本を紹介し合っている。

これらの学習を通して，児童は丁寧な言葉づかいでの好きな本の紹介の仕方や，発表会で伝え合う楽しさはわかってきている。しかし，自分の紹介する本の特に好きな場面を具体的に紹介したり，友だちに紹介され興味をもった本をすぐに読んだりするという活動は今までにしていない。

(3) 指導にあたって

単元の指導について

本単元の指導にあたっては，第一次に挿絵と文章を照らし合わせ，あらすじを読み取らせるようにする。その際，物語全体を流れる温かい雰囲気や，児童が抱いた感動を損ねることのないよう留意しながら進め，物語の展開を楽しんだり，自分の今までの経験や感動を伝え合ったりするようにしたい。

第二次では，「生き物の本コーナー」を学級内に設置し，自分が友だちに紹介したい本をじっくり選ばせたい。本が決まったら本の紹介文や発表の仕方を工夫させるが，書く活動に使用する紹介カードを準備し，書くことの苦手な児童が紹介文を書く場合に活かせるようにしたい。

第三次では，話し手は自分の伝えたい事が相手に伝わるためにはどう話したらいいか意識させながら発表に臨ませたい。また聞き手も自分で読んでみたい本を書きながら，関心をもって聞くことができるよう配慮したい。

研究主題に関わって

ア モデルの効果的な活用の工夫について

第一次では，自分が読んだ本を提示しながら好きな場面を紹介する方法を具体的につかませるために，教科書の挿絵を使って教師がモデルを示す。その際本を持たない場合も示し，児童に聞きやすいのはどちらかも考えさせたい。

第三次では，教師が教科書の紹介カードを使って，話す順序や姿勢が定まらずはっきりしない声で聞き手の方を見ない発表をし，悪い話し方のモデルを示す。それをもとに児童にはどのような話し方がよいのかを考えさせ，よりよい発表をするための具体的なイメージがもてるようにしたい。そして練習の際には悪いモデルのようにはならないよう，班の友だちとお互いにより話し方ができているかを意識し合いながら練習できるようにさせたい。

イ 互いのよさを認め高め合う活動の工夫について

本教材では，第三次の発表会の練習や発表の場面で，友だちの発表の仕方や内容のよかった点を見つけたり感想を述べ合ったりしてお互いのよさを認め合うことができるようにする。また，児童の発表に対して教師もよさをみつけ全体に広げるようにする。そして発表の終わりには，それぞれが自分の活動についてふりかえり，がんばった自分や友だちを認めることができ，これからの活動も前向きに取り組めるよう自信や期待感をもって単元を終わるようにする。

3 単元の目標

<関心・意欲・態度>

物語の本を楽しく読もうとする。

<話すこと・聞くこと>

物語を読んで、友だちに知らせたい事を選び、相手に分かるように話すことができる。(話すこと・聞くことア)

友だちの本の紹介で大事な事を落とさないようにしながら、気を付けて聞くことができる。(話すこと・聞くことイ)

<書くこと>

友だちに紹介したい本を選び、観点(本の題名、出てくる人や動物、あったこと・好きな場面)にそって、紹介文を書くことができる。(書くことア)

<読むこと>

易しい読み物に興味を持ち、楽しく読むことができる。(読むことア)

<言語事項>

姿勢に注意して、丁寧な言葉ではっきりした発音で話すことができる。(言語ア(ア)・オ(ウ))

4 指導計画(全9時間)

| 次 | 時 | 学 習 活 動 | 評 価 規 準 | |
|---------|-----------------------|------------------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 第一 次 | 1 | 挿絵を見たり全文を読んだりして、話の大体をつかむ。 | 関 | 物語を楽しく読もうとしている。 |
| | | | 読 | 挿絵や文章から物語の大体を読み取っている。 |
| | | | 言 | 漢字や語句について理解している。 |
| | 2 ・ 3 | 物語のあらましを読み取り、この話で好きな場面をきめる。 | 関 | 好きな場面を探そうとしている。 |
| 4 | 物語で好きな場面を紹介し合う。 | 書 | 好きな理由を簡単に書いている。 | |
| | | 関 | 進んで紹介しようとしている。 | |
| | | 話 | だれが、何をしたところが好きか、はっきりと言える。 | |
| 言 | はっきりとした発音で話している。 | | | |
| 第二 次 | 5 | 本の紹介の仕方を知る。 好きな本を選び紹介するための絵をかく。 | 関 | 物語の本を楽しんで読もうとしている。 |
| 読 | 挿絵や文章から物語の大体を読み取っている。 | | | |

| | | | | |
|-----|-------------|---|--------|--|
| | 6 | 好きな本を紹介するカードを書く。 | 関 書 | カード作りに熱心に取り組もうとしている。 紹介する観点(本の題名・出てくる人や動物・あったこと・好きな場面)を書いている。 |
| | 7 | 個人や班ごとに好きな本の紹介をする練習をする。 | 関 | 話し方の練習を進んでしている。 |
| | | | 話 言 | どのような話し方がよいのか考えながら練習をしている。 丁寧な言葉ではっきりと話している。 |
| 第三次 | 8 ・ 9 | 好きな本を見せながら自分の好きな本の紹介をする。 聞き手は感想カードにチェックをする。 友だちに紹介された本を読み合う。 【本時】 1 / 2 | 関 | 進んで発表したり, 聞いたりしようとしている。 |
| | | | 話 | 自分の読んだ本の好きな場面を順序よく発表している。 |
| | | | 言 | よい姿勢に注意して, はっきりした発音で話している。 |

関 関心・意欲・態度 話 話すこと・聞くこと 読 読むこと 言 言語事項

5 本時の指導

(1) 具体目標

ア 目標とする児童の姿

自分の読んだ本の好きな場面が友だちに分かるように, 順序よくはっきり話すことができる。

イ 身に付けさせたい言語能力

知らせたいことを選び, 順序よく相手に分かるように話す力。

(2) 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 |
|----------------|---|---|
| 導 入 (5分) | 1. 学習課題の確認をする。 (1) 前時までの学習をふりかえる。 | <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をふりかえり, 単元のまとめとしての本時に意欲をもてるようにする。 はっきり話すために, 声の大きさ, 口の開き方, 姿勢に気を付けて話すことを確認する。 |
| | (2) 本時の学習課題を確認する。 じゅんじょよくはっきりとはなすことにきをつけて, ともだちにすきな本のばめんをしょうかいしよう。 | |

| | | |
|---|--|--|
| <p style="text-align: center;">展 開 (30分)</p> | <p>2．発表練習を行う。</p> <p>(1) 自分の発表のめあてを決める。</p> <p>(2) 発表の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組みで向かい合い発表練習をする。 <p>3．発表し合う。</p> <p>(1) みんなの前で一人ずつ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表が終わったら質問や感想などを受ける。 <p>(2) 聞き手は、一人の発表が終わってから、学習シートに記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の練習で友だちからアドバイスを受けたことなどを思い出し、今日の自分のめあてを決めて学習シートに書く。 ・ 発表では、次の4点は落とさず、順序よく話すことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本の題名 ・ 出てくる人や動物 ・ あったこと ・ 好きな場面 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の際には紹介カードを見てもよいことを知らせ、不安を和らげるようにする。 ・ 発表後の感想などの交流はなるべく児童間で行わせ、よい発表や発言は教師が取り上げ、認め広めるようにする。【手立て3】 ・ 聞き手も集中して聞けるよう、紹介された本は次時で読めることを知らせ、学習シートには発表を聞いた後に自分も読んでみたいかどうかを記入する欄を設ける。 |
| <p style="text-align: center;">終末 (10分)</p> | <p>3．学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習をふりかえり、自己評価をする。</p> <p>(2) 感想を発表したり聞いたりする。</p> <p>4．次時の学習内容の確認をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあての反省を学習シートに記入する。 ・ 感想を聞き合い、お互いのよさを認め合わせる。 【手立て3】 |

(3) 具体の評価規準

| | |
|-------------|---|
| A | 声の大きさやよい姿勢に注意して，自分の読んだ本の好きな場面が友だちに分かるように，順序よくはっきり話している。 |
| B | 自分の読んだ本の好きな場面が友だちにわかるように，順序よくはっきり話している。 |
| 努力を要する子への支援 | 前時までの学習で使用した紹介カードを見ながら発表してもよいことを知らせ，くりかえし練習するようにさせる。 |